

病院歯科衛生士研修会 報告

日時:2025 年 9 月 28 日(日) 10:00~12:30

会場:和歌山県歯科医師会館・オンデマンド

演題:「拘縮や筋緊張が強い方の姿勢調整」～環境から対象者を見る視点も持つ～

講師:北出 貴則 先生(医療法人誠佑記念病院診療技術部リハビリテーション室 室長)



研修会では、食事や口腔ケアの基盤となる「姿勢調整」について学びました。不良姿勢は誤嚥や窒息の危険だけでなく、筋緊張や関節可動域の悪化、さらには褥瘡の発生にもつながります。拘縮や筋緊張亢進そのものの改善は困難ですが、ベッド・車いす・クッションといった環境をアセスメントし、身体を広く支える工夫を行うことで、姿勢保持の改善が可能となるとの視点が示されました。実習を通じて、ポジショニングやシーティング、ベッド操作など具体的な方法を学び、特に下肢サポートの重要性を体感しました。ズレや圧迫を防ぎ、適切なサポートで安定した姿勢を整えることが、褥瘡対策や安全な食支援につながることを実感できました。

診療所歯科衛生士研究会勉強会② 報告

日時:2025 年 10 月 26 日(日) 10:00~12:00

会場:和歌山県歯科医師会館・WEB・オンデマンド

演題:「明日から使える! ホワイトニングの基本と臨床活用術」

講師:郷 理加 先生(日本アンチエイジング歯科学会認定 ホワイトニングエキスパート)



勉強会では、ホワイトニングの基礎から臨床での活用まで、日常業務に直結する内容を学びました。医療ホワイトニングとセルフホワイトニングの違い、提案時の留意点、知覚過敏の予防・対応などが具体的に示され、「白くならない原因やホームホワイトニング併用の重要性に気づいた」「患者に自信をもって説明できるようになった」などの声が寄せられました。ホワイトニングが受診や予防意識の向上につながることを再認識し、患者満足度の向上にも役立つ有意義な学びとなりました。

第 2 回生涯研修会 報告

日時:2025 年 12 月 14 日(日) 13:00~15:00 会場:和歌山県歯科医師会館・WEB・オンデマンド

演題:「今知ってほしい! ~フッ化物応用と予防製品のご紹介~」

講師:藤井 美沙 先生(サンスター株式会社 プロケアチャンネル営業部 医科歯科営業グループ)

近年、こどものう蝕は減少傾向にある一方、平均寿命の延伸により残存歯数が増加し、大人のう蝕リスクの高まりが課題となっています。高齢化社会において、生涯にわたる口腔健康の維持・増進は、全身の健康や生活の質の向上に直結します。本研修会では、フッ化物応用の基礎知識や作用機序について解説するとともに、歯面塗布剤、歯磨剤、洗口剤など各種剤型の特徴や適応、具体的な活用方法について学びました。日々の臨床における、より効果的なう蝕予防の実践につながる内容となりました。

秋のイベント活動報告

海南市見える化測定会

10 月 18 日(土) 下津保健福祉センター、19 日(日) 海南保健福祉センターにて海南市民を対象に「見える化測定会」を実施しました。口腔水分計「ムーカス」とオーラルディアドコキネシス測定器「健口くん」により、口腔の状態を数値化して評価しました。口腔乾燥を自覚していない方も多く、結果に驚く様子も見られました。基準値以下の方には唾液の役割や唾液腺マッサージを紹介し、家庭で継続できるケアを助言しました。舌や唇の運動機能の測定と説明にも皆さん熱心に耳を傾け口腔の健康の重要性を再認識いただける有意義な機会となりました。



若年成人を対象とした歯科保健推進事業

和歌山県では、歯科健診の機会が減少する若年成人期の口腔保健の推進に取り組んでいます。10 月 25 日(土) 和歌山信愛短期大学、11 月 15 日(土) 和歌山大学の大学祭で「お口のチェックコーナー」を設け、楽しみながら口の健康を学んでいただきました。地域の方々も多く来場し、子どもから高齢者まで幅広い年代が参加しました。「歯垢が光って見えるのが面白い」「風船が意外と膨らまず、口の力の大切さを実感した」などの声が寄せられました。むし歯・歯周病予防だけでなく、「食べる・話す」といった口の機能の重要性も理解していただける機会となりました。

秋のイベント活動報告

青洲まつり・紀の川市食育フェア

10 月 26 日(日) 青洲の里、11 月 23 日(日) 貴志川生涯学習センターにおいて那賀歯科医師会主催「街角歯科健診 8020」が開催され、本会歯科衛生士はフッ化物歯面塗布やブラッシング指導などを行いました。

子どもから高齢者まで多くの方にご来場いただき会場は笑顔に包まれました。来場者の皆さまには「歯磨きのコツがわかった」「子どもの歯をもっと大切にしたい」などの声をいただき、地域の方々とふれあいながらお口の健康を考える良い機会となりました。



市高デパート

11 月 15 日(土)・16 日(日)、和歌山市立和歌山高等学校 洗心館にて、和歌山市歯科医師会主催「街角歯科健診 8020」が開催され本会歯科衛生士も協力しました。咀嚼力を確認する「噛むカムチェックガム」や、SMT・CAT2I による唾液検査を実施し、結果に基づいた口腔健康指導を行いました。ガムの色の変化や数値化された検査結果から、ご自身の口腔状態を客観的に把握していただく良い機会となりました。指導では、一人ひとりに合わせた歯磨き方法や唾液腺マッサージを提案し、口腔の健康が全身の健康維持に関わることもお伝えしました。



防災活動

11 月 16 日(日) 海南市と御坊市の商業施設で「防災にお口のケア」の啓発活動を開催しました。多くの方が、避難袋に歯ブラシなどの口腔ケア用品を「入れていない」との回答が多く、口腔ケアの備えが十分ではない現状が見えてきました。災害時はお口の健康が保ちにくく、誤嚥性肺炎などのリスクも高まります。今回、液体ハミガキの使い方や、避難袋に入れておきたいグッズを紹介し、「準備しておかないとね」と多くの方に関心を持っていただけました。今後も啓発活動を実施し、口腔ケアの大切さを発信していきたいと考えています。



生涯学習フェスティバル

11 月 23 日(日)、田辺市民総合センターで開催された「生涯学習フェスティバル」に参加し、地域の皆様に向けてお口の健康づくりを支援しました。活動内容は、ブラッシング指導、フッ化物歯面塗布、歯科相談・口腔衛生指導で、当会から 4 名が出務しました。ブラッシング指導では、子どもから大人まで楽しめるよう工夫したお手製教材を用い、分かりやすく実施しました。来場者からは多くの質問や喜びの声をいただき、歯と口の健康への関心の高さを実感する機会となりました。



商工会フェア

11 月 23 日(日)、かつらぎ総合文化会館 展示ホールにて開催された「商工会フェア」に参加し、来場者の皆さまにブラッシング指導と口腔ケアの啓発を行いました。会場では、お口の健康を守るために役立つ歯ブラシ、フロス、歯間ブラシなどのケア用品を展示し、年齢や生活習慣に応じた適切な選び方や使い方をわかりやすく説明しました。また、磨き残しを防ぐポイントや、日常生活に取り入れやすいセルフケアの工夫についても紹介し、健康な歯と口を保つ習慣づくりを呼びかけました。幅広い世代の方に関心を持っていただき、多くの質問や相談が寄せられました。



2025 年も会員の皆さまの温かいご支援に支えられ、活動を続けることができました。心より御礼申し上げます。2026 年もどうぞよろしくお願いいたします。

